

機関番号：12501

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2009～2011

課題番号：21720109

研究課題名（和文）20 世紀ロシア文学と文化史の相関性に関する新パラダイム

研究課題名（英文）The Interconnectedness of Russian Literature of the 20th Century and Culture

研究代表者

鴻野 わか菜 (KONO WAKANA)

千葉大学・文学部・准教授

研究者番号：50359593

研究成果の概要（和文）：

本研究では、20 世紀ロシアにおける文学と文化（主に映画と美術）の相関性を例示し、分析することを目的として、ソ連地下芸術の一派であるモスクワ・コンセプチュアリズム美術（イリヤ・カバコフ）、20 世紀初頭のロシア象徴主義文学（アンドレイ・ベールイ）、現代映画、現代詩について、文化史的な観点から分析を行った。研究成果の一部は、日本語とロシア語で、国内外の学術誌、書籍、研究会等で発表された。

研究成果の概要（英文）：

This study examined the interrelation between Russian literature of the 20th century and culture, especially film and art. I reconsidered several aspects of Moscow conceptualism (Ilya Kabakov), symbolism literature (Andrey Bely), contemporary films and contemporary poems. The research achievements were written in Japanese and Russian, to be published in academic journals and books, to be presented at several conferences.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2010年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2011年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ文学（英文学を除く）

キーワード：ロシア文学，ロシア美術，ロシア映画，ロシア文化，現代詩，コンセプチュアリズム，象徴主義，児童文化

1. 研究開始当初の背景

従来のロシア文学研究では、20 世紀ロシア文学の諸流派の連続性、美術・映画などの文化との関連性の研究が、必ずしも十分に研究されてこなかった。

本研究では、各時代を代表する代表的な流派の具体的な作品を文化史的な観点から分析し、個々の流派、作家、作品の相関関係を研究した。

2. 研究の目的

各時代の主要な流派（象徴主義文学、コンセプチュアリズム・アート、現代詩における新客観主義等）や作家の作品を文化的な観点から分析し、20世紀ロシアにおける文学と文化の相関性を明示し、文化史の新たなパラダイムを構築することが、本研究の目的であった。

研究の成果を内外の学術誌で発表するだけでなく、一般向けの書籍での発表、美術展のカタログの翻訳、ロシア文化研究をふまえた語学教材の作成等を通じて、ロシア文学・文化研究を社会に還元することも目的として、その遂行に努めた。

3. 研究の方法

研究テーマに関する資料収集、読解、分析、作品の実地調査、研究討議、研究論文および著作の執筆を基本的な作業として行った。

研究成果は、国内外の学術誌、研究会で発表し、文学、文学理論、美術、映画等の様々な分野の研究者と意見交換を行った。

4. 研究成果

(1)ロシア現代文化研究（文学・美術・映画）を行った。

①ロシア現代美術の動向、新生ロシア映画における父のイメージに関する論文を共著『ロシア文化の方舟』で発表した。現代美術、現代映画研究の成果の一部は、次年度に発表の予定である。

②コロキウム「〈冷戦〉構造の中のアート変容」（2010年1月30日、於首都大学東京・秋葉原サテライト）で、報告「イリヤ・カバコフと「幸せになるためのプロジェクト」」を行い、コロキウム「プロパガンダと芸術——〈冷戦期・冷戦後〉」（2012年3月25日、於東京国立近代美術館講堂）で、報告「新生ロシア映画におけるチェチェンの表象」を行った。

③現代詩人ドミートリー・クズミン研究に新たに着手し、詩人へのウェブインタビューを行い、テキストや先行研究の分析を進め、その成果を論文にまとめた。また、詩人アンドレイ・ロジオーノフらの作品研究を進めた。

現代詩をめぐる状況、ソ連とロシアの朗読会の歴史についての研究の成果は、近日中に刊行される予定である。

④ソ連アンダーグラウンド文化の研究の一環として、イリヤ・カバコフの作品を分析し、その成果を日本語とロシア語の論文で発表した。

⑤モスクワ写真美術館からの依頼論文「未来の芸術——セルゲイ・シェスタコフのチェルノブイリの写真」（ロシア語）を執筆し、展覧会資料として同美術館ホームページに掲載された。

(2)ロシア象徴主義文学の研究を継続し、アンドレイ・ベールイの長編小説に関する単著論文（ロシア語）を、ベールイ博物館（モスクワ）編集の記念文集に発表した。当論文は、ベールイ博物館研究員らから、高い評価を受けた。

(3)絵本を中心とするロシア児童文化の比較的研究を進め、資料を収集し、現代美術やアーティストブックとの関連について考察した。比較文化的観点からのロシア児童文化の講義を行い、教育を通じて研究成果を還元した。

(4)ロシア文学・文化研究をふまえて、語学を通じて文化にも親しむことのできる一般向けのロシア語初級教科書『ロシア語の教科書』（ナウカ出版、2012年）を作成した。初級ロシア語の高度な知識を効果的に習得できる教科書として、すでに複数の大学で活用されている。

(5)国際交流基金による現代ロシア文化（美術）の調査コーディネータ（2011年）として、ロシアの代表的なキュレーター、美術批評家であるマラート・ゲリマンにアンケートを行い、アンケートを翻訳した上で、現代美術の状況についての概要を執筆した。

また、「ロトチェンコ＋ステパーノワ——ロシア構成主義のまなざし——」展（東京都庭園美術館、滋賀県立近代美術館、宇都宮美術館、2010年）のカタログ翻訳を担当し、ロシア文学・美術・文化の研究の成果の社会への還元を努めた。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計4件）

① Вакана Коно. Сила исторической фантазии: биографии «вымышленных художников» Ильи Кабакова // Japanese Slavic and East European Studies. Vol.32. 2011. С. 55-88.

(鴻野わか菜「偽史の想像力——イリヤ・カバコフ「架空の芸術家」」*Japanese Slavic and East European Studies*. Vol.32. 2011年. 55-88頁.) 査読有

② 鴻野わか菜「ドミートリー・クズミンの翼——肯定の詩学」『人文社会科学研究』第23号(千葉大学人文社会科学研究科, 2011年) 1-21頁. 査読無

③ Йосиаки Кога, Ваkana Коно. Комментарий к «Дворцу проектов» Ильи Кабакова // Школа теоретической поэтики: сборник научных трудов к 70-летию Натана Давидовича Тамарченко. Москва: Издательство Кулагинной-Intrada, 2010. С.341-346.

(古賀義頭・鴻野わか菜「イリヤ・カバコフ『プロジェクト宮殿』解説」『理論詩学派——ナタン・ダヴィードヴィチ・タマルチェンコ教授 70歳記念論集』モスクワ, クラーギナ出版社, 2010年, 341-346頁.) 査読無

④ Ваkana Коно. «Ося и его друзья» - Илья Кабаков и еврейство // Новый филологический вестник No.3 (10) 2009. К юбилею Дины Махмудовны Магомедовой. Москва: РГГУ, 2009. С.95-104.

(鴻野わか菜「『オーシャと友人』イリヤ・カバコフとユダヤ」『新人文研究 ジーナ・マフムードヴナ・マゴメドワ教授記念論集』No.3 (10) モスクワ, 国立ロシア人文大学, 2009年, 95-104頁.) 査読有

[学会発表] (計2件)

① 鴻野わか菜「新生ロシア映画におけるチェチェンの表象」コロキウム「プロパガンダと芸術——〈冷戦期・冷戦後〉」2012年3月25日(於東京国立近代美術館講堂)

② 鴻野わか菜「イリヤ・カバコフと「幸せになるためのプロジェクト」」公開コロキウム「〈冷戦〉構造の中のアート変容」2010年1月30日(於首都大学東京・秋葉原サテライト)

[図書] (計4件)

① 古賀義頭・鴻野わか菜『ロシア語の教科書』(ナウカ出版, 2012年) viii+155頁.

② Ваkana Коно. Функция живописи в

«Петербург» Андрея Белого // Миры Андрея Белого. Белград-Москва: Издательство филологического факультета Белград, 2011. С.827-836.

(鴻野わか菜「アンドレイ・ベールイ『ペテルブルク』における絵画の機能」『アンドレイ・ベールイの世界』ベオグラード, ベオグラード大学文学部出版局, 2011年) 827-836頁.)

③ 『ロシア文化の方舟——連崩壊から二〇年』野中進, 三浦清美, ヴァレリー・グレチュコ, 井上まどか編(東洋書店, 2011年) 担当部分:鴻野わか菜「父なき世界——フィルムの中のロシア」157-164頁, 鴻野わか菜「生きのびるためのアート——現代ロシア美術の最前線」167-174頁.

④ 『社会主義的近代化の経験——幸せの実現と疎外——』小長谷有紀・後藤正憲編著(明石書店, 2011年) 担当部分:鴻野わか菜「偽史の想像力——イリヤ・カバコフ「架空の芸術家」」153-184頁.

[その他]

① 国際交流基金 現代ロシア文化(美術)調査コーディネータ(2011年)

② 翻訳(共訳)『ロトチェンコ+ステパーノフ——ロシア構成主義のまなざし——』(朝日新聞社, 2010年)

③ Рецензия. Набоков Владимир. Тамамоно. (Дар.) *Japanese Slavic and East European Studies*. Vol.31. 2010. С.133-136.

(書評「ウラジーミル・ナボコフ『賜物』(沼野充義訳)」*Japanese Slavic and East European Studies*. Vol.31. 2010. 133-136頁.)

④ 書評「リュドミラ・ウリツカヤ『それぞれの少女時代』(沼野恭子訳)」、「岩本和久『トラウマの果ての声 新世紀のロシア文学』」『ロシア文化通信 群 GUN』36号(群像社, 2010年) 3頁.

⑤ 書評「亀山郁夫『甦えるフレーブニコフ』」、「沼野充義『屋根の上のバイリンガル』」、「四方田犬彦『翻訳と雑神』」『文系留学生のための図書案内 人文科学研究入門』(千葉大学文学部, 2009年) 6-11頁.

⑥ 翻訳(共訳)および解説執筆 イリヤ&エミリア・カバコフ『プロジェクト宮殿』鴻野

わか菜・古賀義顕訳（国書刊行会，2009年）

⑦ 書評「イリヤ・カバコフ『イリヤ・カバコフ自伝 60-70年代，非公式の芸術』『本が好き！』2009年1月号，vol.31.（光文社）14頁.

⑧ BBC. Russian.com のサイトで，ロシア文化・社会，日露文化比較を主題とするロシア語記事を連載（2008年から現在に至る）

- ・ 「心の鏡としてのロシアの連続テレビドラマ」（2009年10月1日）
- ・ 「〈プロジェクト宮殿〉としてのアパート」（2009年12月31日）
- ・ 「移民のための小包」（2010年4月28日）
- ・ 「禁じられた芸術」（2010年7月14日）
- ・ 「『おおきなかぶ』——日本の子供にとっての一番目の民話」（2011年7月29日）
- ・ 「日本の『桜の園』」（2011年9月7日）
- ・ 「国語教科書と国民的英雄」（2011年10月18日）等，2009—2011年度中に22本発表。

6. 研究組織

(1)研究代表者

鴻野 わか菜（KONO WAKANA）
千葉大学・文学部・准教授
研究者番号：50359593